

2023年度 院内教育計画 (看護実務領域 No2)

領域	コース	対象	目的	目標	方法	時間		
看護実務における教育	看護過程	レベルⅠ	1. 看護記録の基礎知識を理解する	①看護過程について理解し、看護記録を書くことができる。	講義	210分		
			1. 退院支援に必要な基礎知識が理解できる	①退院支援に必要な情報収集、意思決定支援について理解できる ②退院支援に必要な療養指導、自立支援、社会資源について理解できる	講義	120分		
			1. 看護を振り返り、今後の課題を見出すことができる	①事例を通して看護過程の展開ができる	症例発表	90分		
	人間関係	レベルⅠ	1. 自己啓発	①新人同士で、自分の思いや考えを説明できる	GW		110分	
				①お互いの現状を共有することができる ②新人同士で自分の思いや考えを説明できる			170分	
				①グループワークを通してお互いの現状を共有する ②今後の学習・現場での課題を見出す			140分	
	コミュニケーション	レベルⅡ	1. 組織の一員として責任ある行動ができる 2. 看護職としての倫理的態度を身につける	①患者の全体像をとらえた計画立案と看護記録が出来る	講義・GW		150分	
				②自分を知ると共にアサーティブコミュニケーション技術を習得する			講義・GW	180分
				③パートナーシップマインドについて理解する			GW	120分
				④看護者の倫理綱領を理解する ⑤実践の場で看護倫理を考え、行動することができる			発表	60分
	糖尿病	レベルⅡ以上	1. 糖尿病について理解を深め、患者指導に活かすことができる。	①症例を通して基本的病態を学ぶ	講義	60分		
	記録看護		1. 看護記録に関する課題とその改善策を考え、自部署内で実践することができる	①看護記録に関する課題とその改善策を考え、自部署内で実践することができる	講義 演習	90分		
	P O T		1. 正確な食事時のホシヨニング技術を学ぶ 2. 患者への適切なホシヨニングと食事介助ができる	①食事時のホシヨニングの継続と定着	演習	90分		
	医療安全		1. 急性期病院で必要な報告スキルの習得をする 2. 糖尿病看護の理解を深め適切な判断ができる	①報告スキルを自部署内で実践・指導ができる ②糖尿病看護の理解を深め適切な判断ができる	講義 演習	150分		
救急蘇生	全員	1. 突然の心臓停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生が出来る 2. 救急カートからの準備ができ、挿管介助が行うことができる。	①蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる ②BLSを行うことができ、AEDを安全に操作できる ③挿管介助ができる	演習	各75分			
看護助手	看護助手	1. 介護職員の質の向上 2. 誠意を持って介護にあたる看護補助者を育成する	①看護部組織を理解する ②組織人としてのコミュニケーションを学び、実践に活かすことができる ③蘇生術を学び知識を習得できる ④看護補助業務における医療安全を理解する ⑤看護補助業務における感染対策を理解する	講義 オンデマンド 聴講 演習	60分			